

重要情報シート（個別商品編）

使用開始日：2025年05月10日

フィデリティ・米国株式ファンドCコース（分配重視型・為替ヘッジあり）

1 商品等の内容（当社は、組成会社等の委託を受け、お客様に商品の販売の勧誘を行っています）

金融商品の名称・種類	フィデリティ・米国株式ファンドCコース（分配重視型・為替ヘッジあり）
組成会社（運用会社）	フィデリティ 投信株式会社
販売委託元	フィデリティ 投信株式会社
金融商品の目的・機能	フィデリティ・米国株式マザーファンド受益証券への投資を通じて、米国を中心に世界（日本を含みます。）の金融商品取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）されている株式を主要な投資対象とし、投資信託財産の成長を図ることを目的として運用を行ないます。
商品組成に携わる事業者が想定する購入層	当ファンドの主要投資対象や運用内容について十分な知識や投資経験があり、主要投資対象や運用内容がご自身の投資目的に合致しており、年4回の分配金を享受したいと考えている投資家様にご投資頂くことを想定しております。中長期的に比較的高い投資収益を求めつつ、元本割れリスクも許容する投資家様向けのファンドです。 ※将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。
パッケージ化の有無	パッケージ化商品ではございません。
クーリング・オフの有無	金融商品取引法第37条6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。



以下のような質問があれば、お問い合わせください。

- ・当社が提供する運用商品のうち、この商品が、私の知識、経験、財産状況、ライフプラン、投資目的に照らして、ふさわしいという根拠は何ですか？
- ・私は想定する購入層と異なりますが、購入しても問題ないでしょうか？
- ・この商品を購入した場合、どのようなアフターサービスを受けることができますか？
- ・この運用商品が複数の商品を組み合わせたものである場合、個々の商品購入と比べて、どのようなメリット・デメリットがありますか？

2 リスクと運用実績（本商品は、円建ての元本が保証されず、損失が生じるリスクがあります）

損失が生じるリスクの内容	当ファンドは、主として株式を投資対象としますので、組入株式の価格の下落や、組入株式の発行者の経営・財務状況の悪化およびそれらに関する外部評価の変化等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、為替相場の変動等により損失を被ることがあります。 ※主なリスクは以下のとおりです。（以下に限定するものではありません。） 価格変動リスク／為替変動リスク
【参考】過去1年間の収益率	6.6%（2025年4月末現在）
【参考】過去5年間の収益率	平均14.5% 最低-29.9%（2022年12月） 最高45.6%（2021年3月） （2020年5月～2025年4月の各月末における直近1年間の数字）

※ 損失リスクの内容の詳細は【交付目論見書】の「2.投資リスク」、運用実績の詳細は「3.運用実績」に記載しています。



以下のような質問があれば、お問い合わせください。

- ・投資信託のリスクについて、私が理解できるように説明してほしい。
- ・この商品を購入した場合の最大利益額、最大損失額はどのくらいか説明してほしい。
- ・相対的にリスクが低い類似商品があれば、その商品についても説明してほしい。

3 費用（本商品の購入又は保有には、費用が発生します）

購入時に支払う費用（販売手数料など）	一律：3.30%（税込）
継続的に支払う費用（信託報酬など）	運用管理費用（信託報酬）：ファンドの純資産総額に対し、年1.65%（税抜1.50%）を乗じた額 その他費用・手数料が実費で、法定書類作成・監査費用が年率0.10%を上限としてファンドから支払われます。
運用成果に応じた費用（成功報酬など）	ありません。

※ 上記以外に生ずる費用を含めて、詳細は【交付目論見書】の「4.手続・手数料等」に記載しています。



以下のような質問があれば、お問い合わせください。

- ・この投資信託に100万円を投資したら、実際にどのくらい費用がかかるのか説明してほしい。
- ・投資信託にかかる費用は、どんなサービスの対価か説明してほしい。
- ・費用がより安い類似商品はあれば、その商品について説明してほしい。

4 換金・解約の条件（本商品を換金・解約する場合、一定の不利益を被ることがあります）

- 当ファンドの償還期限はありません。ただし、ファンドの受益権の残存口数が30億口を下回った場合等には、繰上償還となる場合があります。
 - お客さまが当ファンドを換金・解約しようとする場合の手数料や信託財産留保額はかかりません。
 - 大口換金には制限があります。取引所等の取引停止、その他やむを得ない事情等があるときは、購入・換金の申込みの受付を中止し、既に受付けた購入・換金の申込みの受付を取消す場合があります。ニューヨーク証券取引所・銀行の休業日は申込みの受付を行いません。
- ※ 詳細は【交付目論見書】の「4. 手続・手数料等」に記載しています。



以下のような質問があれば、お問い合わせください。

・投資信託を換金・解約するとき、具体的にどのような「制限」や「不利益」があるのか説明してほしい。

5 当社の利益とお客様の利益が反する可能性

- 当社は、お客さまが支払う運用管理費用（信託報酬）のうち、組成会社から年0.81125%（税抜0.7375%）の手数料を頂きます。これは購入後の情報提供、運用報告書等各种書類の送付、口座内でのファンドの管理及び事務手続き等の対価になります。
- 当社と組成会社（運用会社）の間に重要な資本関係等はありません。
- 従業員の業績評価上、この投資信託が他の投資信託の販売より評価されることはございません。

※ 利益相反に関する対応方針は、ホームページをご参照ください。

<https://www.pwm.co.jp/fair>



以下のような質問があれば、お問い合わせください。

・私の利益より販売会社側の利益を優先した運用商品を私に薦めていないでしょうか？

・私の利益を害することがないよう、販売会社側において顧客本位の取り組みをとられていますか？

6 租税の概要（NISA成長投資枠、NISAつみたて投資枠の対象か否かもご確認ください）

- NISA成長投資枠の対象商品です。
- 以下の表は、個人投資者の源泉徴収時の税率であり、課税方法等により異なる場合があります。

時 期	項 目	税 金
分配時	所得税および 地方税	普通分配金に対して、20.315%かかります。
換金（解約）時 および償還時	所得税および 地方税	換金（解約）時及び償還時に差益（譲渡益）に対して、20.315%かかります。

※ 詳細は【交付目論見書】の「4. 手続・手数料等」に記載しています。

7 その他参考情報（契約にあたっては、次の書面をよくご覧ください）

当社が作成した目論見書補完書面	https://www.wam.abic.co.jp/accl/conv.html?p1=1&p2=C24a287&p3=A32314185&p4=006 ※PDF形式で掲載しています。	
組成会社（運用会社）が作成した交付目論見書	https://www.wam.abic.co.jp/accl/conv.html?p1=1&p2=C24a287&p3=A32314185&p4=004 ※PDF形式で掲載しています。	

交付目論見書、目論見書補完書面、重要情報シートはご希望がございましたら紙でもお渡しします。

各質問事例に関する回答は、別紙にまとめております。こちらよりご確認ください。

https://www.wam.abic.co.jp/ap02rs/contents/pdf/C24a287/doc/C24a287_qa.pdf



投資信託は、投資元本および収益金は保証されておりません。投資信託をご購入の際には、必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」および「目論見書補完書面」をご確認のうえ、ご自身でご判断ください。